

1. AI-OCRソフトウェア機能要件一覧

以下の要件を全て満たすこと。

No.	項目名	要件	備考
1	動作環境	スタンドアローンで稼働すること。	
2		Windows11で動作可能なこと。	
3	基本機能	帳票や画像データから次の文字が認識なこと。 手書き文字、活字、マーク（丸囲み、チェックボックス等） バーコード、QRコード	
4		AI技術を用いるなど文字を認識する精度を向上するための機能を有していること。	
5		帳票定義はプログラミング等の知識が無くとも直感的に操作ができること。	レベル感としては、チュートリアルや簡易な操作説明等で使用方法を容易に習得できることを望む。
6	読取機能	帳票画像データを読み取って文字を認識するまでの時間が平均30秒/枚以下であること。	
7		読み取り枚数が無制限であること。	読み取り枚数による費用請求が発生しないこと。
8		帳票画像データに傾きや拡大・縮小があっても、自動的に補正し読み取りできること。	
9		帳票画像データのサイズは、A3～A5やB4～B5の規格サイズの他、規格外サイズも認識可能なこと。	
10		帳票画像データを連続して読み取り可能なこと。	
11		ドロップアウトカラー機能を有すること。	具体的には、赤色等、黒以外の色の除外、あるいは抽出を行い、読み取りたい文字色のみを残せること。
12		帳票画像データはPDF形式、TIFF形式、JPEG形式を認識可能なこと。	
16		帳票画像データを読み取った後に、読み取り結果の確認及び修正ができること。	具体的には、読み取った画像と読み取り結果の文字が項目ごとに表示されること。
13		帳票画像データの項目ごとにテキスト化し、そのデータをCSVファイルで出力できること。	
14		複数帳票への対応	複数種類の帳票画像データの帳票定義を管理できること。
15	複数種類の帳票画像データを同時（連続）読み取り処理を行った場合、帳票定義ごとで自動的に振り分けを行えること。		
17	外部連携	スキャナとの連携が可能で、スキャナで読み取った際に作成された帳票画像データをOCRソフトウェアで直接読み取りし、認識できること。	

2. スキャナ装置機能要件一覧

以下の要件を全て満たすこと。

No.	項目名	要件	備考
1	読取速度	A4 横：カラー、200/300dpi 時で、両面100 枚/分以上読めること。	
2	読取量	8 時間/1 日稼働時で、44,000 枚まで読めること。	
3	解像度	600dpi 以上での読み取りも可能であること。	
4	読取方式	自動給紙方式、フラッドベット方式、手差し単送方式による読み取りが可能であること。	
5	読取サイズ	読取方式による読み取りでA3サイズまで読むことができること。	
6	合成機能	スキャン時に原稿表裏合成機能等により、A1 サイズまで疑似的に画像化ができること。	
7	重送検知	重なり（重送）検知ができること。	
8	原稿搭載量	給紙台の原稿搭載枚数は200 枚以上であること。	
9	自動給紙方式	自動給紙方式では原稿サイズを自動で検知できること。	
10		自動給紙方式では原稿の向きを自動補正できること。	
11		自動給紙装置は180 度回転が可能で、左右いずれからでも原稿挿入できること。	
12	外部連携	スキャンした帳票画像データをOCRソフトで直接読取りができること。	
13	外寸、他	外形寸法が706 x 500 x 345mm以下であること。	
14		重量が35kg 以下であること。	
15		USB3.1Gen1/USB3.0/2.0/1.1のインターフェースを有すること。	